

公共事業環境配慮書

農政部 農地整備課

事業名称			
事業名	経営体育成基盤整備事業		
整理番号	R4-12		
事業の種類	ほ場の整備		
市町村名	諏訪市		
箇所名	諏訪平地区		
事業年度	令和4年度～令和10年度		
事業概要			
目的	営農条件の改善による営農経営の効率化		
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	区画整理工 A=36.6ha		
関連する事業計画	特になし		
その他特記事項	特になし		
関係法令等の規制			
自然環境保全地域等の指定状況	なし		
土地利用規制の状況	農振法の農業振興地域 河川法の河川区域または河川保全区域		
その他	なし		
社会的要素			
	<b>留意すべき地域の概況</b>		
交通の現況	事業区域内に国道、県道はなく、市道及び農道が位置している。		
土地利用の現況	平野・田園である		
生活関連施設の現況	周辺に住居が点在している 事業区域近隣に、クリーンレイク諏訪、しんきん諏訪湖スタジアムが位置している。		
その他	特になし		
自然的環境要素			
	<b>環境配慮の方針</b>		
大気環境	留意すべき地域の概況	生活関連施設がある	
	<b>【大気汚染の防止】</b>		
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行はできる限り避ける。		
	・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。		
	・粉じんの飛散抑制(散水や清掃等)に努める。		
・工事区域の近隣住民に対して、事業の事前周知を行う。			
<b>【騒音、振動の防止】</b>			
・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。			
・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働をできる限り避ける。			
水環境	留意すべき地域の概況	河川・湖沼に隣接する 農業用排水路が存在する	
	<b>【水質汚濁の防止】</b>		
	・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。		
	<b>【水循環の保全】</b>		
	・水田や地下水・湧水を保全する。		
地形・地質	留意すべき地域の概況	特になし	
	<b>【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】</b>		
	現況表土を再利用する。		
	<b>【改変面積の最小化】</b>		
	出来る限り、田の畔抜きなどによる小規模な地形改変(基盤切り盛り)による区画整理に努める。		
野生動植物	留意すべき地域の概況	諏訪市田園環境整備マスタープランにおける環境配慮区域である 令和3年4月、6月に環境情報協議会を開催した(希少動植物確認されず)	
	<b>【野生動植物の生息・生育空間の保全】</b>		
	・希少動植物が確認された場合は、回避や移植による保全を図る		
	景観	留意すべき地域の概況	田園景観を形成している
		<b>【すぐれた景観の保全】</b>	
・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。			

廃棄物・ 建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】
省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。
	【資源の有効利用】
	・使用基準等に留意の上、再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用を推進する。
	【環境への負荷の少ない機械の利用等】
省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	大気環境等	<p>整備するほ場の周辺に生活関連施設(住居)があることを踏まえ、</p> <p>・土砂等が生じる場合は、土砂表層や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い、粉じんの飛散を防止する等の配慮をしてください。</p> <p>また、工事実施地域の近隣住民に対する事業の事前周知に配慮してください。</p>	<p>・既に工事実施地域の近隣住民に対して事業の事前周知を実施していますが、工事の際は改めて周知を行い、土砂等が生じる場合は、土砂表層や道路の散水、車両や機械の清掃等を行うなど、周辺家屋等に配慮した粉じんの飛散防止対策に努めます。</p>



# 農業競争力強化基盤整備事業 経営体育成基盤整備事業

## 諏訪平地区 計画一般図

S=1:25,000

